



カルシウム剤

日本薬局方

乳酸カルシウム水和物

CALCIUM LACTATE HYDRATE

乳酸カルシウム「ヤクハン」

2.重要な基本的注意

長期投与により血中及び尿中カルシウムが高値になることがあるので、長期投与する場合には定期的に血中又は尿中カルシウムを検査することが望ましい。また、高カルシウム血症があらわれた場合には投与を中止すること。

3.相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン系抗生物質の吸収を阻害することがあるので、同時に服用させないこと。	テトラサイクリンとカルシウムが難溶性のキレートを形成し、吸収されにくくなる。

4.副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
長期投与	高カルシウム血症、結石症
その他	便秘

5.高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意する。

6.過量投与

症状:高カルシウム血症(食欲不振、嘔気、嘔吐、便秘、口渇、多尿、筋緊張低下、精神症状、意識障害等)

処置:投与を中止し、カルシウムの尿中排泄を促進するために、生理食塩液等の補液やフロセミド等のループ利尿剤を投与する。また、カルシトニン製剤、コルチコステロイド類の投与、透析等の必要な措置を講じる。

【取扱上の注意】

配合変化:炭酸水素ナトリウム、クエン酸、シュウ酸を含む溶液と混合するとカルシウム塩を析出するので、本剤との同時投与を避ける。

211438D

製造販売元

ヤクハン製薬株式会社

北海道北広島市北の里27番地
TEL&FAX 011-373-1097

使用期限

製造番号

GS1-RSS



(01)14987322113935

JAN



4 987322 113938

日本標準商品分類番号

873211

承認番号等	21000AMZ00304000
薬価収載	1998年3月
販売開始	1998年7月
再評価結果	1986年12月

〈貯法〉 気密容器

500g
(細粒)

2008年4月改訂(新バーコード表示に伴う改訂等)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- (1) 高カルシウム血症の患者[尿細管や糸球体の機能障害、腎・尿路結石症を悪化させるおそれがある。]
- (2) 腎結石のある患者[腎結石症を悪化させることがある。また腎の石灰化や尿路結石を誘発するおそれがある。]
- (3) 重篤な腎不全のある患者[排泄、再吸収等の腎機能が極度に低下し、カルシウムだけでなく体液全般の恒常性の維持が困難な場合が考えられる。]

【組成・性状】

1.組成

本品1g中、日局乳酸カルシウム水和物1gを含む。

2.製剤の性状

本品は白色の細粒で、においはなく、味はわずかに酸味がある。本品1gは水20mLに徐々に溶け、エタノール(95)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。本品は常温でやや風解し、120℃で無水物となる。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
低カルシウム血症に起因する下記症候の改善 テタニー 下記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給 妊婦・産婦の骨軟化症 発育期におけるカルシウム補給	乳酸カルシウム水和物として、通常成人1回1gを1日2~5回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 活性型ビタミンD製剤を服用している患者[高カルシウム血症があらわれやすい。]
- (2) 強心配糖体の投与を受けている患者[強心配糖体の作用を増強するおそれがある。]
- (3) 高カルシウム血症があらわれやすい病態の患者(病態例:悪性腫瘍、甲状腺機能亢進症など)